



世界のコテージに暮らそう。

VILLAX

HOUSE & RESORT





THE NEW
LUXURY
LIVING



It is a home that lives in nature
The stage is better so well
The house is not only a soul
It is a place where family, nature, and it is completely
It is real genuine nature and real life
It is a true richness and luxury



Luxury to live

住むという贅沢



boqpod

庭と家に癒されるデザインハウス

VILLA & RELAX & GARDEN

家とは、庭という自然と楽しむことでリラックスできる器。
ヴィラックスは、癒しを世界的デザイナーが家という形に表現した家。
景色に溶け込み、普遍的なデザインでリゾートライフを過ごせる
飾り気のない大人のためのライフスタイル。



COTTAGE



コンパクトのインパクト

フランク・ロイド・ライトのユースニアンハウスは高価・・・デザインも品質も最高だから。

しかし、どんなに高額でも、手に入れる方法がある！

コテージとしての平屋の家、身の丈にあったサイズで扱いやすい・・・。

デザイナーの考えたプランで最高が意外に手に入る。

そこには、コテージならではの工夫と住みやすさがある・・・夢を諦めるな。勝ち取れ！

boqpod





house changer

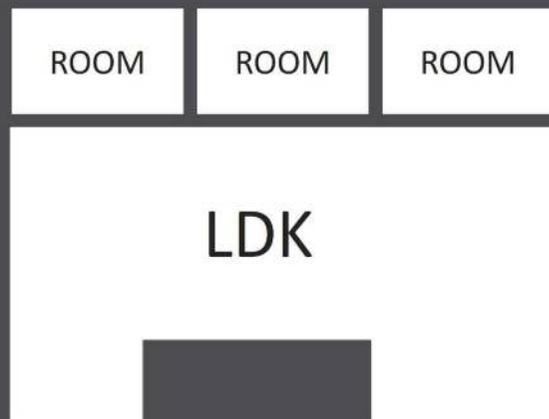
世界を変えるデザイン

ボックスポッドは、日本が世界に影響を与えたアール・デコという直線的幾何学デザインをモチーフにしている。

アール・デコ様式は直線的な幾何学デザインを特徴とし、それまでの華やかな装飾を取り払ったシンメトリーでスタイリッシュなデザインでどこから見ても美しい。それは、住むこと自体に贅沢を感じる家本来の意味を感じさせてくれる。

本物は、旧帝国ホテルの玄関に代表されるように普遍なものとしてその価値を失わない。

boqpod という選択



ブックポッドは僕の小屋。
別荘などのコテージハウス。
都会の喧騒を離れて、
自然の中で安らぐための家。
決して高性能な
便利な家ではない。
大きな窓から見える景色で
大好きな家族と団欒する。
好きな趣味の相棒と
思う存分遊び、心の充電する。
ブックポッドという
飾り気のない
大人のためのライフスタイル。

Cottage My Life

家というよりはコテージ

1F床面積 84.35㎡ (25.51坪)

ロフト面積 10.77㎡ (3.25坪)

平屋は一番の贅沢。

でも、よくありがちなデザインの平屋が多くて、
しっくりこないことが多い。

ライフスタイルも流行を追っているものばかりで個性がない。

ボックスポッドは、大地に鎮座するだけで絵になるフォルムを
持ち、素材やディテールが本物志向で、
スクエアな線と線の交差で生まれる外観で構成されている。

それは、歴史的な世界デザインから、
インスパイアされたボディーだから、
流行りには左右されない一生物のデザイン。

また、一歩室内に入ると、
自然素材そのものを使ったストレスフルな空間と、
自然の明かりを取り込んだスカイライト。
ロケーションを楽しめるワイドウィンドウによって、
室内にいるのに自然と一体になる錯覚に包まれる。

ウッドテラスは、広く奥行きが長い。

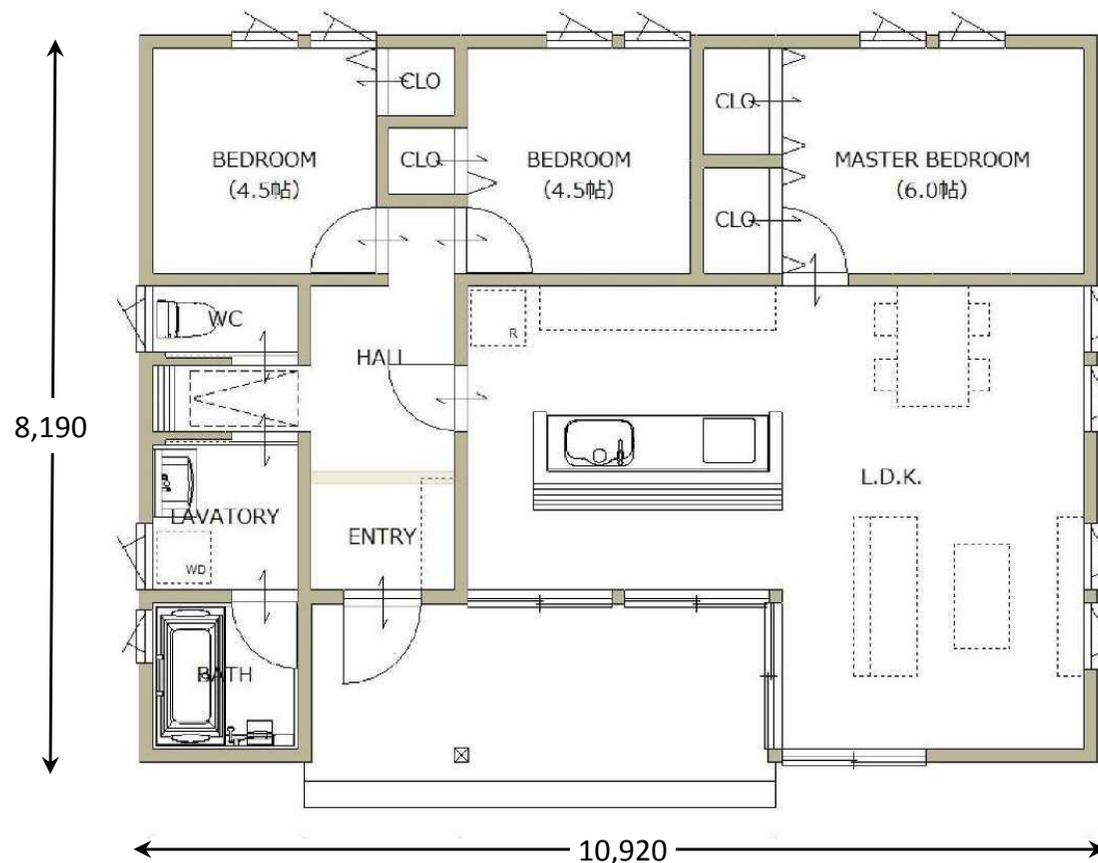
休みの日は、仲間を集めてグランピングBBQときめこもう。

自宅が最高のリゾートだと気付いたら、

この家を相棒とする必要性は理解できるだろう。

この家は名車のように、

使い込むほどに味を増して私を虜にして離さない。



boapod

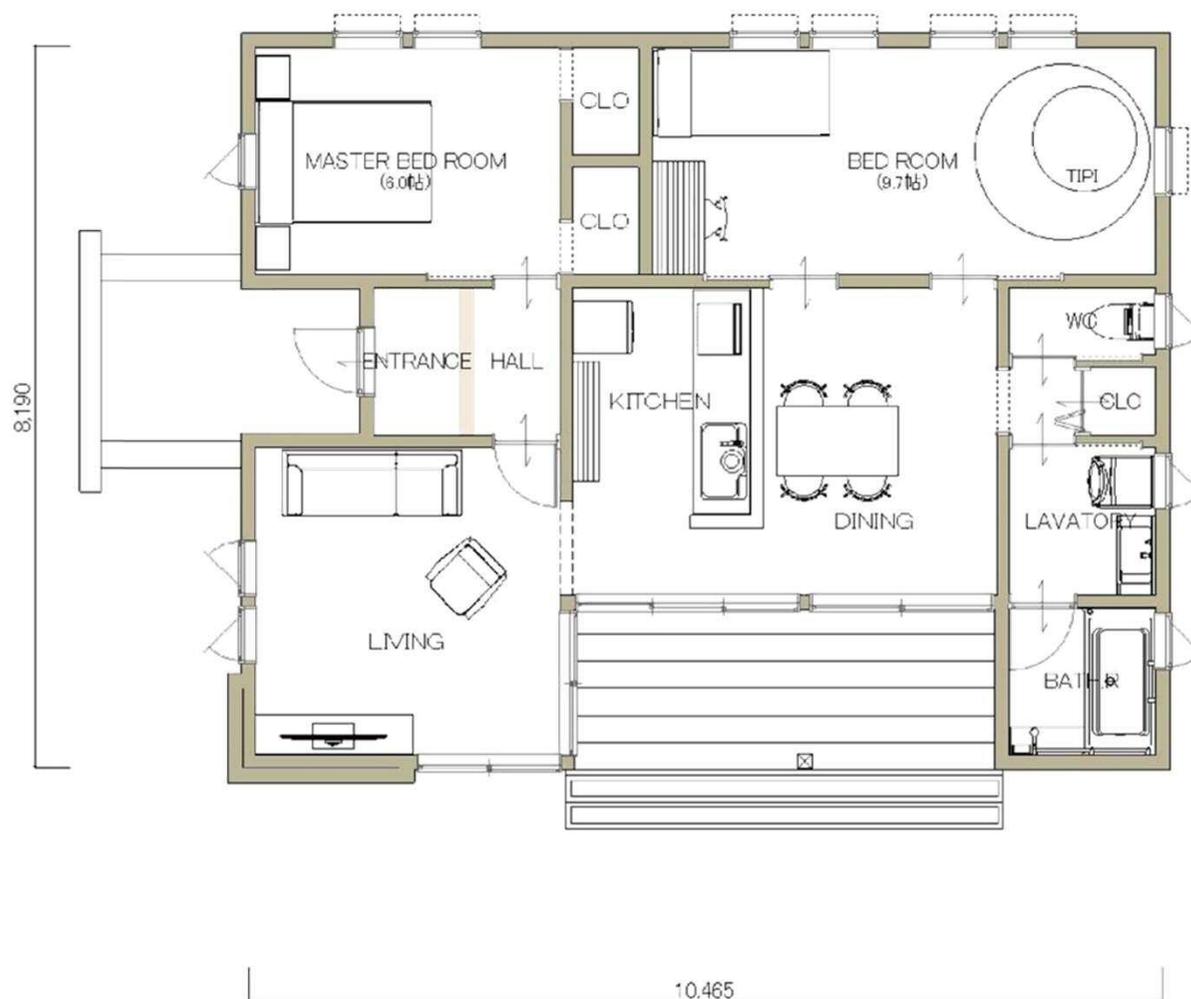


The only way of life
自由に生きる贅沢



1F床面積 74.11 (22.41坪)

ロフト面積 6.62 (2.00坪)

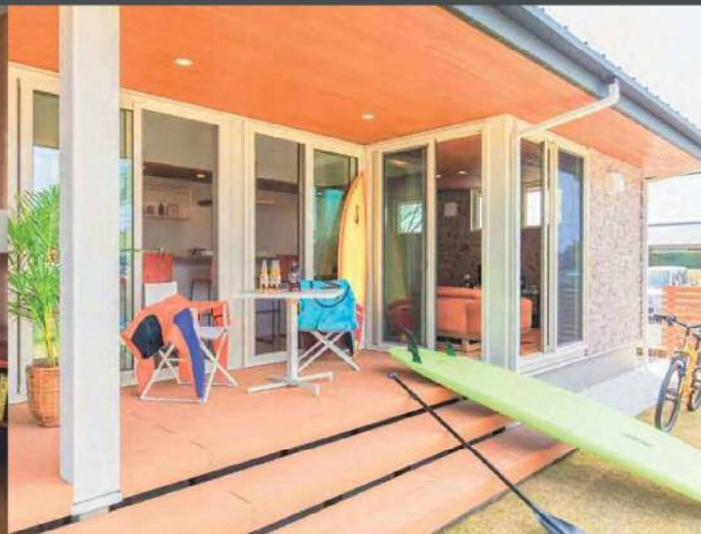


世界のコテージに暮らそう。

Starting point is what I want.

原点は自分の欲しいもの

ポックポッドは、所有者が自由に生きるための器。しかも、住む場所によってイメージまでも想像できるように設計されている。その原点は、建築のプロであるデザイナーが本当に欲しい家として作られているためだ。家は、その性質上での商品とも違い、人がそこに体を委ねて初めてわかる居心地という形のないものを提供している。だからこそ、室内の高さや、素材、家具が置かれた時の使いやすさなど、専門分野にいる人間がしっかりとした提案をするべき責任がある。



Glamping

Urban glamping taste.
The appearance with painted walls,
I express a square box pod artfully.
To you who stick to the alternative.

Oceanside

Oceanside style.
The appearance with random stone arranged,
I add a sense of quality to the square box pod.
To you who stick to elegant living.

Mountains

Mountain style.
The appearance with bricks arranged,
I express a square box pod mildly.
To you who stick to natural materials.

街中パーベキューライフのグランピングスタイル。
塗り壁を配した外観は、
スクエアなボックスポッドをアートフルに表現します。
アウトドアライフにこだわるあなたに。



海の近くをイメージするオーシャンサイドスタイル。
ランダムストーンを配した外観は、
スクエアなボックスポッドに高級感を付加します。
エレガントな暮らしにこだわるあなたへ。



山の麓で暮らすようなマウンテンスタイル。
レンガを配した外観は、
スクエアなボックスポッドをマイルドに表現します。
自然素材にこだわるあなたへ。



bird view

child room

bed room

loft

entry

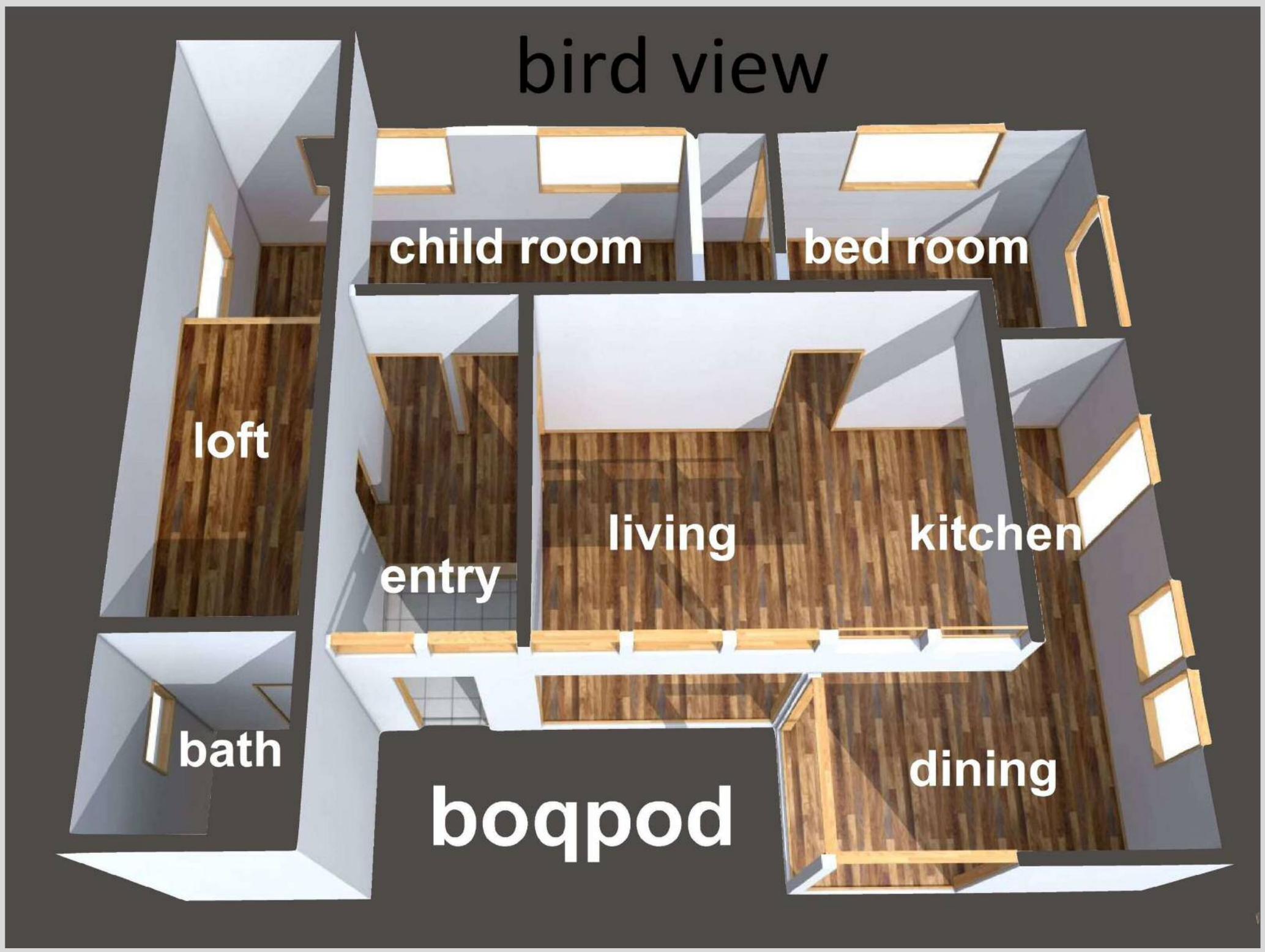
living

kitchen

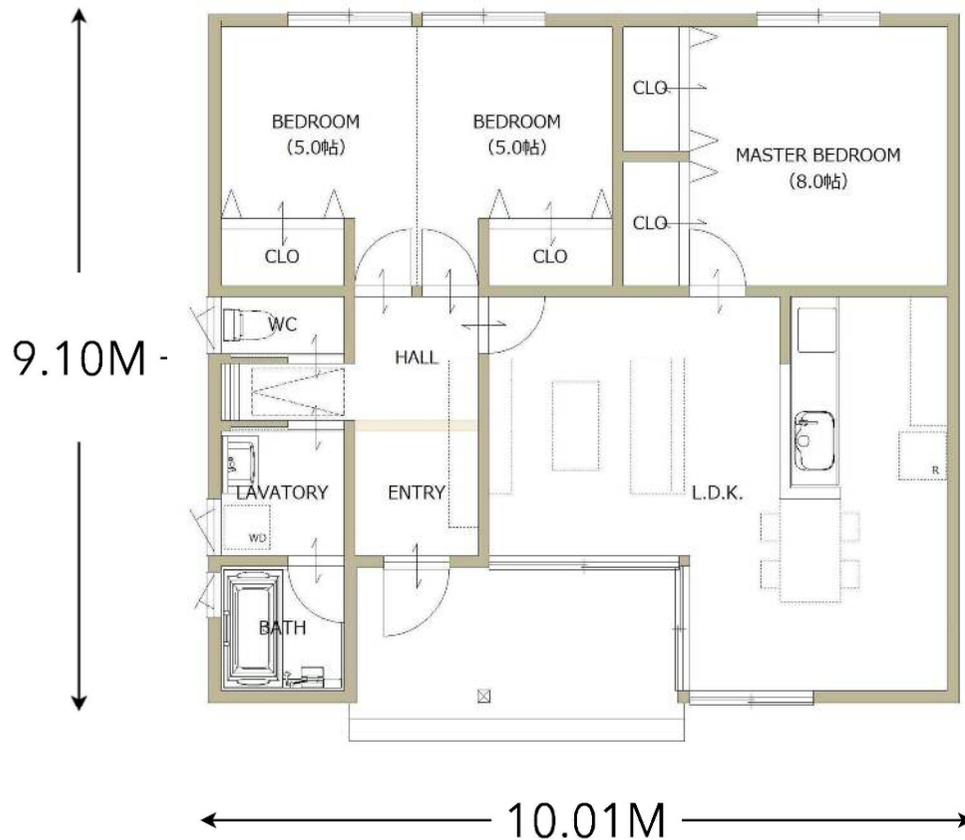
bath

boqpod

dining



Case study house **boqpod**



WIDE

11

82,81m²25坪

都市部にも、郊外にもジャストサイズな家。
大好きな我が家としてのちょうど良さ。
家を持つという満足感を得られるプラン。

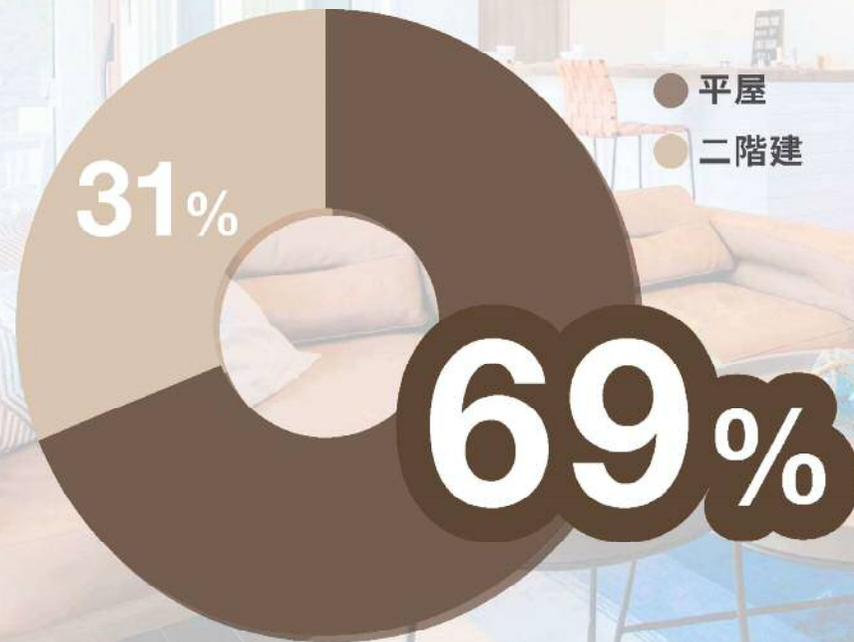


世界のコテージに暮らそう

VILLAX
HOUSE & RESORT

平屋のワケを探る

終の棲家にするなら 平屋と二階建のどちらを 選びますか？



終の棲家… 憧れはやっぱり平屋

アンケートの結果、平屋がいいという人が大半であることがわかりました。

—— 土地面積があるなら平屋建てにしたいです。贅沢な建て方で広々と使える点と全体バリアフリーにする事が可能なのでお年寄りにも安全に暮らせようだからです (30代/女性)

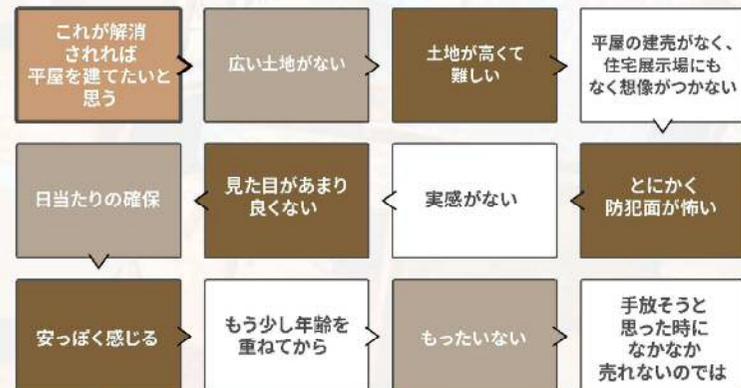
—— 高齢者になると階段を上るのがきつくなると思うから (30代/会社員/男性)

平屋と回答した人の多くは、老後の生活を見越しているようでした。それでは、2階建てと答えた人の意見も見てください。

—— 狭い土地でもたくさんの部屋が作れそうだから。 (20代/会社員/男性)

—— 現実的にそんなに広い土地は手に入れないと思うので、平屋では生活空間が狭くなってしまふから。 (40代/女性)

2階建てと回答した人は、住居空間や収納スペースなどそれぞれ目的は違いますが、なるべく土地の広さが決まっている中でも居住空間を大きくとるためには、2階建てにしたいと考えているようです。



住まいの専門家に

平屋について聞いてみた!

「平屋」のメリットとは?

1

コミュニケーション

平屋は住宅設計で問題になりがちな家族とのコミュニケーションを取りやすい空間をつくる
ことができます。

2階建てなどは、階段を上がり部屋の扉を開けると、
部屋にいるのかさえないような
孤立した場所が生まれます。

それは、言い換えればプライベートな空間が
あることにもなりますが、子どもや家族との貴重な
時間を大切にしたい方には平屋が生み出す家族の
一体感は大きな魅力と言えるでしょう。

子どもにいつでも目の届くところにいて欲しい
家庭には平屋は理想のカタチです。

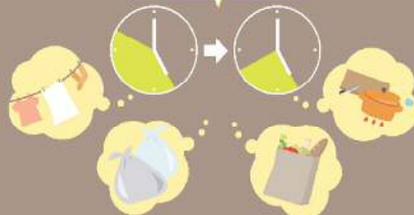


2

時短

平屋は階段がないことで洗濯、掃除機、
荷物の出し入れなど家事を効率よく
行うことができるので時間を
有効的に使えたりできます。

時短!



3

安定

2階建てより構造的に安定しやすい

地震大国である日本に住んでいる以上、住
居の耐震対策は必須です。耐震性を考える
時に重要なのは建造物の重量です。重量が
重いほど地震が発生した時の揺れも大き
くなります。その点、2階建てと比べて平屋は
重量が軽くなりますから、地震に強い住居
であると言えるでしょう。



4

スムーズ

階段がない平屋での移動は、常にスムーズ
で無理のない水平移動となるので、階段を
上り下りすることによる転倒や腰痛など
といった家庭内での事故の心配がない他、火
事などの緊急事態の時に上の階に取り残さ
れるといった心配もありません。



フラット

土地を贅沢に使いながら、
ゆったりとした時間(とき)を作りだしてくれる平屋の佇まいは、
2階建てなどの住宅とはひと味違う魅力を持っています。

近年その魅力が再認識され、
世代を問わず住まいのカタチに平屋を選ぶ方が増えていて、
平屋で家づくりのお話を進められる(憧れを持つ)方が増えています。

満足していない
15%

実際に

平屋を建てた人に聞いてみた!

平屋に満足
していますか?

満足している

85%

平屋に住む一般生活者の85%が「平屋に満足している」と回答。その要因については様々な視点から考察する必要があるが、まず総じて平屋の満足度は高いといえそうだ。
また、彼らが平屋を取得した際、平屋以外では検討しておらず、1社もしくは数社で悩むことはあっても、平屋という選択肢の中で悩んだという回答が全体の80%に及んでいる。

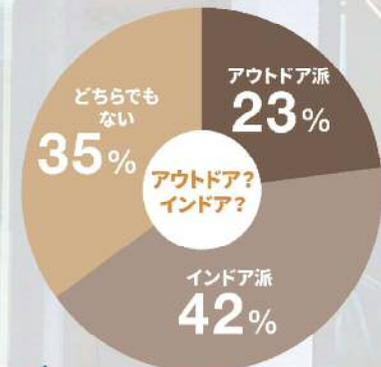
昨年実際に平屋を建てた(もしくは中古で平屋を購入した・譲渡された)一般の生活者200人を対象にアンケートを実施。平屋を選ぶ顧客はどんな種類の人たちなのか。

建物価格:2335万円
大きさ :37.06 坪
(土地価格平均1125万円)

家族構成



「夫婦」の内訳は、60代・50代・40代の順に多く、30代もそこそこ。20代や70代は少ない。「夫婦+子供1人」では30代が「子供2人」になると40代がトップという、お手本のような結果になっている。



意外にもインドア派が多いという結果に。趣味も、読書や自宅でのDVD(映画)鑑賞、ゲームといったものが圧倒的に多かった。年齢問わず知的なイメージが垣間見える。一方、どちらでもない派の趣味は家庭菜園が目立つ。

検討した
20%

平屋以外
検討しま
したか?

検討していない

80%

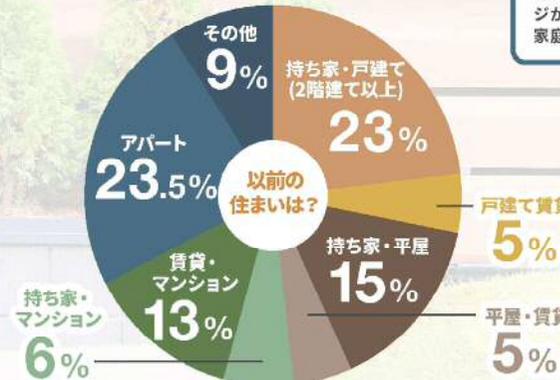
平屋以外
(2階建て以上)も
検討した人

どちらも
同じくらい
43.9%

予算感
は?

平家の方が
安くなった
26.8%

平家の方が
高くなった
29.3%



今平屋に住んでいる人は、その前はどんな家に住んでいたのか。マンションとアパート住まい、さらに平屋(賃貸)を合計すると、約4人に3人は階段のない生活をしていて、平屋を建てていることに。

平屋の満足度とは？

なぜ平屋にしたのか？

建坪を有効活用するため

必要に迫られて

庭で煙ができること

土地が広いから

マンション暮らしが長かったので

一人暮らしになったため

年だから階段は負担が大きいので

実家が平屋だったので

夫婦二人だし将来のことを考えて

環境にマッチする

バリアフリーのため

平屋に住んで良かったことは？

動線が楽

小さくまとまっていて住みやすい

階段を上らなくてもよい

ゆったり住める

掃除が早く済む

掃除が楽なのと移動も楽

広いこと！開放的であること

家族全員が両側の部屋になった

動線に無駄がない

十分な空間。希望通りの家

楽しい

一体感がありみんなどこにいるかわかる

戸締りの確認場所が少ない

暮らしやすい丁度いい広さ

ココをこうすべきだったのでは？

玄関・土間をもう少し広めに

収納が少なかった

周りの景色が悪い

軒をもっと深く

部屋の明るさをもう少し考えればよかった

天窗をもっと欲しい

建物外周の灯りをもっと確保すべきだった

HMは外構のアドバイスをしてくれなかった

コンセントのレイアウト

縁側を作ればよかった

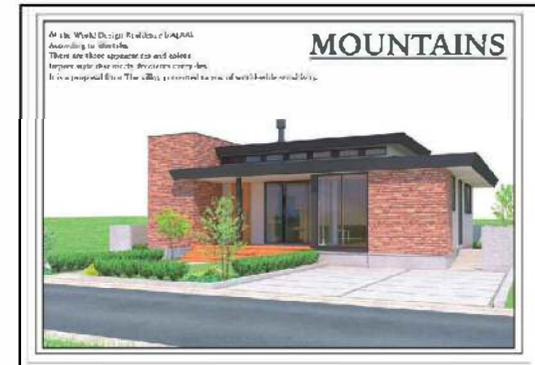
都会で暮らしていると
息がつかることがある。
そんな時人は、
太陽のオレンジを見たくなる。
人間は理として自然と離れて
生きることはできない。
時間がもったいない。
今すぐロケーションを求めて、
郊外へ行こう。そこには、
日本の都会では見れない
美しい景色があるのだから。

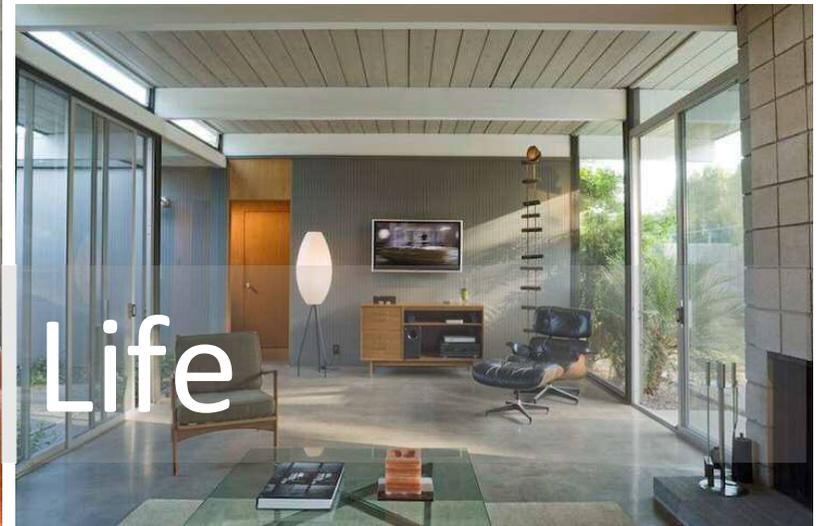
Cottage RESIDENSE

Proposal only plan.
あなただけに提案します。



boqpod





Cottage My Life





世界のコテージに暮らそう。

VILLAX
HOUSE & RESORT